



学部連携中間発表

team3. 愛色 leciel

D

石塚孝太郎・富田麻未・佐藤葉生・太田晶子・笠原るしえ
世良竜也・原菜月・石田詩織・林知恵実 教員：武田亘明

N

石川綾乃・大友咲乃・川島育美・坂爪里紗・高宮庸司郎
鉢呂真美・三上奈月・吉田育美 教員：須田恭子



研究の背景



企画目的



企画内容①



企画内容②



活動計画



最終アウトプット





情報機器の発達によるコミュニケーション能力の低下。

コミュニケーション不足

食に関わる問題

孤食率の増加により食材の知識や関心を持つ機会が減少。

一次産業の活性化

少子高齢化や過疎化、産業全体のマイナスイメージによる後継者不足。



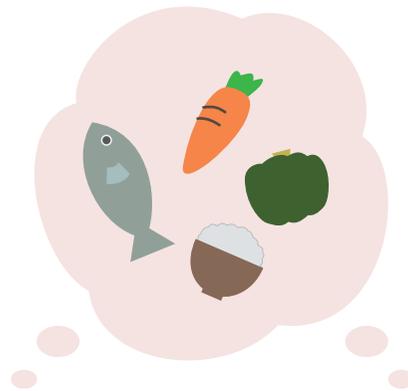


…これらの問題から

北海道の特性を活かした地域活性

が求められていると考えます!!

食を通じた
コミュニケーション



食への理解を
深める





食育 × コミュニケーション

農作物の成長過程の
体験の場として

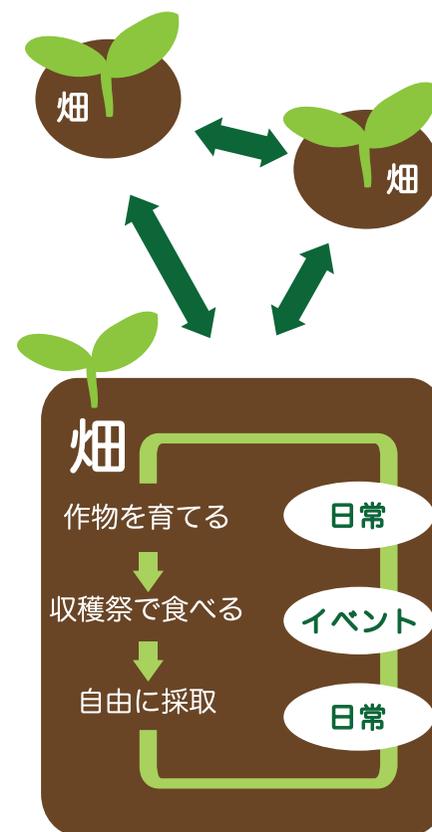
人の集まる場として





畑コミュニティの成り立ち

- ①畑をつくりコミュニティを形成
- ②畑単位で作物を育てる
- ③共同作業で、体験の共有と情報交換が行われる
- ④収穫祭を開き、育てた作物をたくさんの人と一緒に食べる
- ⑤次の栽培が始まるまでの間、作物は自由に採取できる
- ⑥作物を育てる・・・(繰り返し)





現地で本格的に食について学ぶ

×

イベントとして楽しく農業体験!





農業体験ツアーの流れ

- ①ツアーの計画を立案し、参加者を募集する。
- ②参加者が農家に赴き、種まき、収穫などの農作業を体験する。
- ③実際に自分が収穫した食材を調理してみんなで食べ、コミュニケーションを図る。

帰ってからも農作業に興味を持つことができ、『畑コミュニティ』に繋がる。



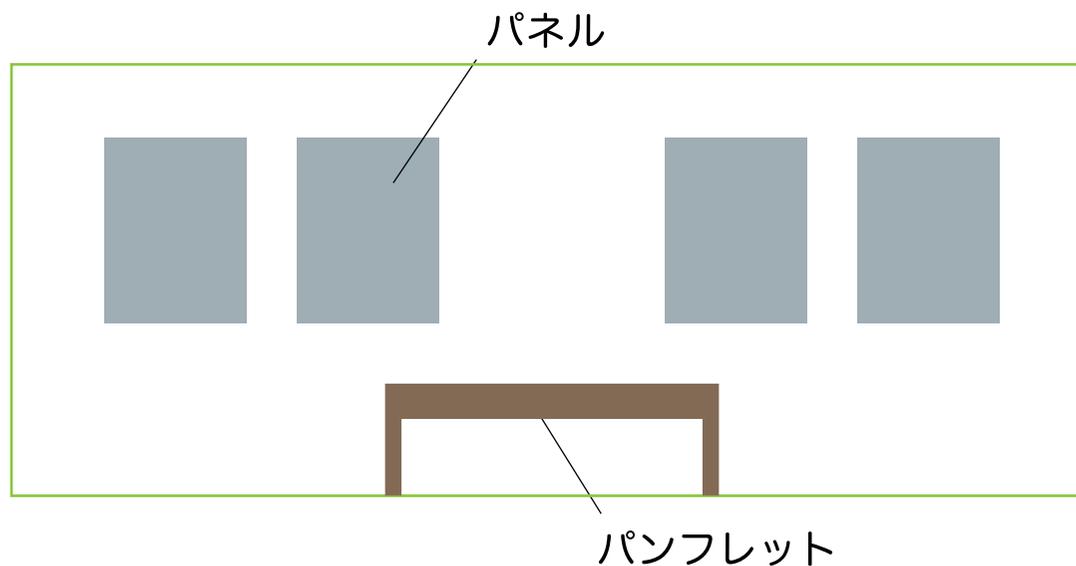


- ~3月 コンセプト、企画概要などの基本的な事項の決定
- 4月 データ収集、詳細な企画の計画
- 5月 データ収集、詳細な企画の計画
- 6月 企画全体の最終確認
- 7月 パネル、パンフレット等の制作
- 8月 パネル、パンフレット等の制作
- 9月 完成





展示例(スカイウェイ)



制作物：パネル、パンフレット





おわり

team3. 愛色 leciel

ご清聴ありがとうございました！

